

別紙

◆◆◆表彰式及び場所 : 平成27年7月16日(木) 10時00分◆◆◆
KKRホテル名古屋 3F芙蓉の間
(名古屋市中区三の丸1-5-1)

【中部地方整備局長表彰(3件)】

◆優良工事(成績優秀) 1社

● 神稲建設株式会社

工事名 平成24年度 天竜川松尾護岸工事
工事内容 本工事は、長野県飯田市松尾地先において天竜川の石張り護岸及び床固工事を行うものである。(河川土工1式、護岸基礎工1式、法覆護岸工1式、根固め工1式、水制工1式)
工期 平成25年3月26日から平成26年5月31日まで
請負額 ¥212,251,200.-
表彰理由 基礎面は堆積土砂を想定していたが、風化花崗岩が現れ掘削作業効率が低下し、又、井戸涸れ発生のため上水道管の設置が必要になったが、それぞれ速やかに対応し、適切な工程管理を行った。加えて、構造物の線形等も良好で、全体的に美観の良い出来映えであった。

◆優良工事技術者(成績優秀) 1名

● 神稲建設株式会社 監理技術者 くまがい しんいち 熊谷 伸一

工事名 平成24年度 天竜川松尾護岸工事
表彰理由 床掘時に天竜川の基盤岩(風化花崗岩)が出現したが、重機の手配等迅速に行い床掘を完了させ、石工の増員などにより適切な工程管理に努めた。また、埋め戻しに際して多自然的造形を主眼に、船下りの航路確保を加味するなどの工夫した取組がなされた。

◆優良業務技術者(成績優秀) 1名

● 日本工営株式会社 名古屋支店 担当技術者 まつもと さだかず 松本 定一

業務名 平成26年度 天竜川水系大規模土砂災害監視システム検討業務
業務内容 管内の砂防堰堤や溪流を対象とした監視カメラ画像解析による流量推定システムについて、実用化に向けたシステム構築を行うとともに、小渋川流域を対象とした観測設備及び運用体制の検討を行うものである。
履行期間 平成26年7月31日から平成27年3月20日まで
請負額 ¥32,497,200.-
表彰理由 担当技術者として業務内容を十分に理解した上で、発注者や関係機関との打ち合わせ資料の準備や意見の取りまとめを効率的に行うなど、業務精度の向上に際して役割を果たした。

◆◆◆表彰式及び場所 : 平成27年7月22日(水) 10時00分◆◆◆
天竜川上流河川事務所 2階会議室
(長野県駒ヶ根市上穂南7-10)

【天竜川上流河川事務所長表彰 工事の部(28件)】

◆優良工事(成績優秀) 3社

● 池田建設株式会社

工事名 平成26年度 天竜川宮田護岸工事
工事内容 本工事は、長野県上伊那郡宮田村中越地先において出水等により洗堀された根固め及び護岸の補修工事を実施したものである。(河川土工1式、護岸基礎工1式、法覆護岸工1式、根固め工1式、水制工1式)
工期 平成26年9月1日から平成27年3月25日まで
請負額 ¥140,076,000.-
表彰理由 既設構造物との端部も適切に処理され、構造物の線形も良好で全体的美観に優れている。また、大幅な護岸形状の変更にも適確に対応がなされ、適切な工程管理により余裕をもって完成させた。埋め戻しでは巨石を配置し良好な水辺環境を創出した。

● 木下建設株式会社

工事名 平成26年度 天竜川伊久間護岸工事
工事内容 本工事は、長野県下伊那郡喬木村伊久間地先において天竜川の石張り護岸及び床固工事を実施したものである。(河川土工1式、護岸基礎工1式、法覆護岸工1式、根固め工1式、水制工1式)
工期 平成26年9月25日から平成27年3月25日まで
請負額 ¥185,220,000.-
表彰理由 護岸の根継工事であり、複雑な法面や基礎構造ではあったが、良好な線形を造成し、全体的に美しい出来映えであった。また、工事延長の長い工事であったが、現場内を分割し施工待ちを極力少なくするなど、工程管理を適切に行い工期内に完成した。

● 株式会社ヤマウラ

工事名 平成26年度 天竜川中沢護岸工事
工事内容 本工事は、長野県駒ヶ根市中沢地先において出水等により洗堀された根固め及び護岸の補修工事を実施したものである。(河川土工1式、護岸基礎工1式、法覆護岸工1式、根固め工1式、水制工1式)
工期 平成26年9月1日から平成27年3月25日まで
請負額 ¥131,328,000.-
表彰理由 既設構造物との端部も適切に処理され、構造物の線形も良好で全体的美観に優れている。また、増工にも適確に対応がなされ、適切な工程管理により余裕をもって完成させた。練石積みの施工における作業員の負担軽減などの、安全対策も非常に良かった。

◆安全工事 1社

●清野建設株式会社

工事名 平成25年度 天竜川水系初ノ沢砂防堰堤工事
工事内容 本工事は、長野県伊那市高遠町芝平地先の三峰川流域、山室川の左支川初ノ沢において計画されている砂防堰堤を実施したものである。
工期 平成26年3月1日から平成27年3月13日まで
請負額 ¥172,908,000.-
表彰理由 地山崩落に備えた法面伸縮計と連動したサイレンの設置と地山点検及び、工事期間中に発生した法面崩落に対する押え盛土の設置、変位計設置による常時監視などの安全対策を的確に実施した。また、工事用道路として使用した県道の交通安全対策を適切に行った。

◆社会貢献等工事 1社

●北沢建設株式会社

工事名 平成24年度 天竜川水系ツベタ沢砂防堰堤工事用道路工事
工事内容 本工事は、長野県飯田市上村中郷地先に計画されているツベタ沢砂防堰堤を建設するための工事用道路を整備したものである。地元まちづくり委員会と調整しながら施工を行い、地元につながる無形・有形文化財の広報や自然石を利用した環境整備を実施した。
工期 平成25年3月8日から平成27年3月25日まで
請負額 ¥198,491,400.-
表彰理由 地元小学生を招いた現場見学会を実施し、土砂災害や砂防堰堤施工の紹介パネルを用いて砂防事業の重要性等をわかりやすく説明した。見学会の様子が一般紙で報道され、住民参加型の施工に対して、まちづくり委員会や当該小学校から評価され感謝状が授与された。

◆優良工事技術者（成績優秀） 2名

●池田建設株式会社 監理技術者 いしかわ たかひろ 石川 貴弘

工事名 平成26年度 天竜川宮田護岸工事
表彰理由 近隣工場で井戸涸れの懸念があったが、段階的に埋め戻しを行い排水量を軽減することで回避した。また、河床復元では、巨石を工夫して配置し良好な水辺環境を創出した。現場を熟知しており、技術者としての信頼度が高い。

●木下建設株式会社 監理技術者 みなみ あきふみ 南 章文

工事名 平成26年度 天竜川伊久間護岸工事
表彰理由 工事延長が長いため、現場内を分割し、施工時期をずらすことにより施工待ちを減らすなど、工夫した取組がなされた。また、既存の法面基礎が一定勾配でなかったが、良好な線形を造成し、全体的に美観の良い出来映えであった。

◆優良工事協力企業 14社、優良工事協力企業技術者 7名

● 有限会社小林工業

※2工事にて受賞

工事名 平成24年度 天竜川松尾護岸工事
(優良工事：局長表彰、施工者：神稲建設株式会社)
担当工事 土工、作業土工（床掘り、埋戻し）仮置土、工所用道路工、土留、仮締切工
表彰理由 流量の多い本川において、仮締切盛土を安全かつ十分な機能を持たせて施工した。埋め戻し時に河道に淵や浅瀬等の変化をつけるなど、河岸や河川の景観・環境への配慮をはらった施工を実施した。

工事名 平成26年度 天竜川伊久間護岸工事
(優良工事：事務所長表彰、施工者：木下建設株式会社)
担当工事 護岸基礎工、法覆護岸工、根固め工、仮設工
表彰理由 出水期後の10月からの着工で、台風などの影響による増水対策を必要とされましたが、471mにもなる長い施工延長を、最適な機種選定により安全かつ効率的に施工した。また、多自然型に配慮した埋戻しを行った施工は高く評価できる。

● 有限会社小林工業 主任技術者 ^{ふくざわ} 福澤 ^{さとる} 悟

工事名 平成24年度 天竜川松尾護岸工事
担当工事 土工、作業土工（床掘り、埋戻し）仮置土、工所用道路工、土留、仮締切工
表彰理由 床掘りにおいて、風化岩掘削に必要な機材を集中して投入し、工程の遅延を緩和させた。

● 有限会社小林工業 主任技術者 ^{たなか} 田中 ^{きよかず} 清和

工事名 平成26年度 天竜川伊久間護岸工事
担当工事 護岸基礎工、法覆護岸工、根固め工、仮設工
表彰理由 施工延長の長い現場であったが、現場を2ブロックに分け施工の効率を上げる提案等を行うなど、元請との調整を十分に行った。

● 有限会社小池興業

工事名 平成24年度 天竜川松尾護岸工事
(優良工事：局長表彰、施工者：神稲建設株式会社)
担当工事 護岸基礎工、根固め工、法覆護岸工、水制工
表彰理由 元請の意図する施工計画をよく理解、把握した上で、適切に実施し、目標とする品質、安全、工程、出来形美観の達成に尽力した。特に求める規格値に対し、施工精度の向上に努力し、良好であった。

● 有限会社小池興業 主任技術者 ^{いしはら}石原 ^{かんじ}勘次

工事名 平成24年度 天竜川松尾護岸工事
担当工事 護岸基礎工、根固め工、法覆護岸工、水制工
表彰理由 床堀時の一時中止や風化岩による遅れ等が起こったが、法覆護岸工での元請の工程に即した人員を集め、元請けとの連携を密に取り工程遅れを取り戻すことができた。また、精度良い出来形管理であった。

● 下平建設株式会社

工事名 平成24年度 天竜川松尾護岸工事
(優良工事：局長表彰、施工者：神稲建設株式会社)
担当工事 法覆護岸工、根固め工、水制工、構造物撤去工
表彰理由 元請の意図する施工方法をよく理解し、安全施工を徹底した上で、卓越した技能を以って的確に実践し、求められる機能を満足した構造物を製作した。

● 下平建設株式会社 主任技術者 ^{たきむら}瀧村 ^{たけし}岳志

工事名 平成24年度 天竜川松尾護岸工事
担当工事 法覆護岸工、根固め工、水制工、構造物撤去工
表彰理由 根固めブロック設置に際し、床堀面の整正などきめ細かな段取りで、据付精度を向上させ、また修正手間を減らしすことによる工程短縮に寄与した。

● 株式会社矢澤興産 ※2工事にて受賞

工事名 平成26年度 天竜川宮田護岸工事
(優良工事：事務所長表彰、施工者：池田建設株式会社)
担当工事 石張工
表彰理由 丁寧な施工により、取付部の端部処理や線形が良好であった。

工事名 平成26年度 天竜川中沢護岸工事
(優良工事：事務所長表彰、施工者：株式会社ヤマウラ)
担当工事 石張工
表彰理由 厳寒期での石張工施工において、胴込めコンクリートの給熱養生を適切に行うと共に、養生期間を厳守し、品質を確保して工事を完成させた。

● 株式会社西部重機

工事名 平成26年度 天竜川宮田護岸工事
(優良工事：事務所長表彰、施工者：池田建設株式会社)
担当工事 作業土工
表彰理由 段階的な埋戻しにより井戸涸れ対策を行った。巨石の配置により水辺環境の創出に努めた。

● 岩澤建設株式会社 伊那支店

工 事 名 平成26年度 天竜川宮田護岸工事
(優良工事：事務所長表彰、施工者：池田建設株式会社)
担当工事 舗装工
表彰理由 不陸整正施工に創意工夫を凝らし表層の平坦性を向上、施工速度を上げ余裕をもって工事完成させた。

● 岩澤建設株式会社 伊那支店 主任技術者 ^{はんだ しげる} 半田 茂

工 事 名 平成26年度 天竜川宮田護岸工事
工事担当 舗装工
表彰理由 工事進入路となった天端舗装工の舗装であるが、補足材敷均し工法を工夫し、平坦性と施工速度を向上させた。

● 大平建設株式会社

工 事 名 平成26年度 天竜川伊久間護岸工事
(優良工事：事務所長表彰、施工者：木下建設株式会社)
担当工事 護岸基礎工、法覆護岸工、根固め工、水制工、構造物撤去工、仮設工
表彰理由 護岸基礎延長483mの長丁場を、少ない工期で厳しい工程管理が要求される中での施工となりました。特に十字ブロック撤去・据付は重量物を取扱うため細心の注意を必要とする作業でしたが、無事故で安全に施工した事は高く評価できる。

● 大平建設株式会社 主任技術者 ^{おおだいら ふみやす} 大平 文康

工 事 名 平成26年度 天竜川伊久間護岸工事
担当工事 護岸基礎工、法覆護岸工、根固め工、水制工、構造物撤去工、仮設工
表彰理由 掘削の進行に即したブロック撤去・据え付けに必要な、人員・機材等を迅速に集め工程が滞ることなく施工を行った。

● 株式会社宮坂組

工 事 名 平成26年度 天竜川中沢護岸工事
(優良工事：事務所長表彰、施工者：株式会社ヤマウラ)
担当工事 護岸基礎工、仮設工、法覆護岸工、根固工、水制工、構造物取壊工
表彰理由 施工延長の長い現場において、積極的に増員し、複数班施工とすることで工期を短縮させ、余裕のある現場運営に協力した結果、品質を確保して工事を完成させた。

● 株式会社宮坂組 主任技術者 みやさか つよし 宮坂 力

工 事 名 平成26年度 天竜川中沢護岸工事
担当工事 護岸基礎工、仮設工、法覆護岸工、根固工、水制工、構造物取壊工
表彰理由 根固ブロックを2ブロック2班同時施工する努力により、設置日数を半減し、全体工期に余裕がもてた。

● 伊那建運株式会社

工 事 名 平成26年度 天竜川中沢護岸工事
(優良工事：事務所長表彰、施工者：株式会社ヤマウラ)
担当工事 土工、仮設工
表彰理由 湧水量の多い現場にも関わらず、適切な排水路を設け、作業床を常にドライな状態に保つことで品質を確保して工事を完成させた。

● 株式会社井上興業

工 事 名 平成25年度 天竜川水系初ノ沢砂防堰堤工事
(安全工事：事務所長表彰、施工者：清野建設株式会社)
担当工事 砂防土工、コンクリート堰堤工
表彰理由 当現場一帯は脆弱な地質の地すべり地帯であり、堰堤掘削期間中3度にわたり崩落が発生し、土工形状や法面对策がその都度変更になった。崩落発生前については全員で危険認識を共有し点検・巡視を行った結果、崩落発生時の人的・物的被害を無くすことができた。また、崩落後の作業についても工程・工法の変更に伴って円滑に対処し、変更打合せした作業手順を遵守し掘削作業を進めた結果、安全に作業を完遂した。

● 北陽建設株式会社

工 事 名 平成25年度 天竜川水系初ノ沢砂防堰堤工事
(安全工事：事務所長表彰、施工者：清野建設株式会社)
担当工事 法面工
表彰理由 施工期間中における崩落発生に伴い、急遽発生した法面对策工について、速やかに施工に入り対策を行った。また、崩落の危険が高い当現場において、専門的な知識を生かした点検や施工における的確な助言により、他業者と協力し安全に作業を完遂した。

● 片桐土建

工 事 名 平成24年度 天竜川水系ツベタ沢砂防堰堤工事用道路工事
(社会貢献等工事：事務所長表彰、施工者：北沢建設株式会社)
担当工事 道路改良(拡幅)擁壁工、石・ブロック積工、排水構造物工、構造物撤去工、防護柵工、橋台工、流路工、踏掛板工
表彰理由 悪条件のもと、既設との取り合いに対する構造・規格や施工方法の提案を行い、多様な変更を理解した適切な施工を実施した。また、橋梁下部工の施工では狭い条件下で仮排水を有効に設置し、護岸構造物と並行施工により、目的とする構造物の構築と耐久性のある良好な品質を完成させた。

● 株式会社鼎建設

工 事 名 平成24年度 天竜川水系ツベタ沢砂防堰堤工事用道路工事
(社会貢献等工事：事務所長表彰、施工者：北沢建設株式会社)

担当工事 舗装工

表彰理由 工事用道路は縦断線形や横断勾配の変化がきつく施工難であったが、既設との取り合いや端部摺り付けを適切に処置し利用性の高い舗装を仕上げた。橋面舗装は防水を含め材料特性を理解し施工することにより耐久性のある良好な舗装を完成させた。

● 有限会社奥宮工業

工 事 名 平成24年度 天竜川水系ツベタ沢砂防堰堤工事用道路工事
(社会貢献等工事：事務所長表彰、施工者：北沢建設株式会社)

担当工事 吹付工

表彰理由 堰堤と橋台法面のモルタル吹付けを担当。逆巻き工法の段階的施工に対し、施工個所の条件を理解し適切な施工を行った。堰堤上部の落石対策では、急峻な場所であったが、圧送管の工夫や繊維入り材料を提案するなど、工程と安全を第一に考え施工を推し進め良好な品質の吹付けを完成させた。

◆◆◆表彰式及び場所 : 平成27年7月22日(水) 13時30分◆◆◆
天竜川上流河川事務所 2階会議室
(長野県駒ヶ根市上穂南7-10)

【天竜川上流河川事務所長表彰 業務の部(6件)】

◆優良業務(成績優秀) 4社

● 日本工営株式会社 名古屋支店

業務名	平成26年度 天竜川水系大規模土砂災害監視システム検討業務
業務内容	管内の砂防堰堤や溪流を対象とした監視カメラ画像解析による流量推定システムについて、実用化に向けたシステム構築を行うとともに、小渋川流域を対象とした観測設備及び運用体制の検討を行うものである。
履行期間	平成26年7月31日から平成27年3月20日まで
請負額	¥32,497,200.-
表彰理由	現状の課題を十分に分析した上で、精度向上のため現地での調整を積極的に行う等、良好な成果の取りまとめを行った。

● 株式会社建設環境研究所 中部支社

業務名	平成26年度 天竜川河川環境調査業務
業務内容	天竜川上流域で実施している自然再生事業へのフィードバックを目的に、モニタリング調査等を行うものである。
履行期間	平成26年5月13日から平成27年3月13日まで
請負額	¥19,580,400.-
表彰理由	多岐にわたる業務内容であったが、調査内容を十分に理解し、希少種保護では地域保護意識向上と合意形成を図りつつ、良好な成果のとりまとめを行った。

● 株式会社嶺水

業務名	平成26年度 単価契約 天竜川河川図面作成業務
業務内容	河川事業を円滑かつ速やかに執行するために図面の作成や工事数量のとりまとめを行う業務である。
履行期間	平成26年4月29日から平成27年3月31日まで
請負額	¥15,884,245.-
表彰理由	調査職員との連絡調整を積極的に行い、成果品の提出期限の遵守と設計精度向上に努めた。

● 株式会社ゼンシン

業務名	平成26年度 天竜川下久堅築堤用地調査業務
業務内容	飯田市内の天竜川において施工する下久堅築堤工事に必要な用地を取得するために、土地の測量及び物件の調査を実施するものである。調査区域は、天竜川に沿った果樹を中心とした畑であり、面積は約4万5千㎡と広大であり、関係者数も40名程度存在していた。
履行期間	平成26年10月21日から平成27年3月20日まで
請負額	¥12,787,200.-
表彰理由	調査対象となる物件を正確に把握することが必要であったので、現地踏査を実施すると共に、ラジコンヘリを使用して上空からの撮影を実施し照合を行っていくことにより、調査漏れを防止した。このような創意工夫により、より精度の高い成果品となった。

◆優良業務技術者（成績優秀） 2名

● 株式会社建設環境研究所 中部支社 担当技術者 やまうち しげる 山内 茂

業務名	平成26年度 天竜川河川環境調査業務
表彰理由	多岐にわたる業務内容であったが、調査内容を十分に理解し、希少種保護では地域保護意識向上と合意形成を図りつつ、良好な成果のとりまとめを行った。

● 株式会社嶺水 管理技術者 たなか ひろし 棚田 博士

業務名	平成26年度 単価契約 天竜川河川図面作成業務
表彰理由	管理技術者として、業務目的を的確に把握し、重複した複数の箇所の業務を並行して的確に作業し、適正な品質の成果を迅速に納めた。